



第 30 号
発行
富士市消防団
 富士市永田町1丁目 100番地
 電話 (0545) 55-2851
 (0545) 55-2852
 FAX (0545) 53-4633

団長挨拶

富士市消防団長 **渡邊 明夫**



平成三十一年四月一日に富士市消防団長を拝命いたしました。一年が過ぎようとしておりますが、消防団だより発行に際しまして御挨拶申し上げます。

消防団員の皆様方には、日々の生業の傍ら、地域の安全・安心を守るため消防団活動に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。また、団員の御家族、職場の皆様方はじめ、市民の皆様には消防団活動に御理解、御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、令和元年度を振り返りますと、九月の台風十五号により、千葉県では二週間以上にわたる停電、それに伴う断水並びに一万棟に及ぶ住宅被害が発生いたしました。このとき地元消防団は、避難の呼びかけ、警戒活動や生活用水の配布のみならず、市からの要請により住宅被害の状況を確認するため、各地域の住宅の巡回を行ったと

のことで

このように消防団の活動は、被害を最小限に抑えるための通常の災害対応に加え、迅速な復旧に向けて地域と行政をつなげる架け橋ともなっております。

富士市消防団では、ライフスタイルが多様化する現在の情勢に対応するため、昨年度導入した広報啓発活動等を行う学生による「広報啓発団員」に加え、消防職団員OBによる災害活動に特化した機能別消防団員として「災害団員」と「大規模災害団員」を導入いたしました。つきましては多くの市民の皆様への御支援、御協力を賜りますことをお願い申し上げます。

結びに、消防団員の皆様におかれましては、これからも御家族を大切にされ、より一層御活躍されますことをお祈り申し上げます。まして挨拶いたします。



消防団長賞 「映え」 立石 比呂志

令和2年 富士市消防出初式 写真コンテスト 優秀作品



議長賞 「はしご車出動」 高橋 正雄



消防長賞 「救助の砦」 中西 努



市長賞 「凜として」 村瀬 富男



防火協会賞 「二人の消防士」 波木井 芳雄



富士市 消防団 災害団員 大規模災害団員 結団式



平成30年度 消防庁長官表彰受賞者



岩邊 文昭 第18分団長
土屋 仁 第4方面隊長
館山 一政 総務部長

富士市消防

出初式

一年のはじまり

第一分団 団員 渡辺 真一郎
中央町 在住



今年も無事に初式を迎えられたことに、まずは家族に感謝をしたいと思います。毎年ですが私の一年はこの出初式から始まる感覚を覚えます。制服、制帽、革靴で身を固め、足の指先からひざ裏を伝わって背筋にまで広がる寒さと緊張感は特別です。ここ五年は詰所での業務に当たっていたため、久しぶりに現場へ出てこの特別感を改めて感じました。一分団に入団して十五年以上が経ちます。普段の活動に対して十分団長を中心している訳ではありませんが、

『令和初の出初式を通して』

第十二分団 団員 杉山 知之
大淵 在住

平成から令和に元号が移り変わり、令和初の富士市消防出初式が一月十二日に富士市役所駐車場にて、寒空の下挙行されました。昨年度は日本各地で台風災害等、多くの風水害に見舞われました。又、富士市内で



出初式を通して、私は消防団員の果たす役割と、課せられた期待を胸に刻み込み、今年も地域の為に、災害の無い町づくりを目指し防火防災に力を注いでいきたいと決意しました。

輩たちに、厳しくも温かく支えられていいます。市長や来賓の挨拶で、市民の安全と財産を守る消防団、とありますが、地域の消

防団員に所属させて頂いているお陰で、実際には私が安心して生活ができています。ありがとうございます。それは家族にも伝わっていると思います。ほんの小さな事でも困ったときに相談できる仲間がいつでもいる。こんな環境が消防団にはあります。また来年の出初式を無事に迎えることができるよう、一日一日を大事に過ごしていきたいです。

も長時間に及ぶ大規模な火災が発生し、あらためて消防団の必要性を感じました。出初式では多くの市民にその雄姿を観望いただき、私も消防団員としての使命、災害の無い安心安全な富士市を目指す決意と共に初式に臨みました。式典では、ご来賓の方から貴重なお話を頂き、青葉通りの分列行進、ポンプの操法披露等が順調に進められました。そして、出初式の最後を締めくくる一斉放水の大役を昨年引き続き任せられ、緊張の中にもやりがいをもって、放水をしました。全ての団から放される水の力、そして美しい水のカーテンを完成することができました。



防火ポスターコンクール優秀賞受賞者(小学生)



防火ポスターコンクール優秀賞受賞者(中学生)

第33回 消防まつり

防火ポスター
コンクール
表彰式

消防まつり

第二十三分団 団員 高田 竜
厚原 在住

十一月十日、富士市消防まつりが、秋季火災予防運動の一環として開催されました。当日は穏やかな快晴となり、たくさんの方が来場してくれました。

私たちの分団は、「ラーメン、さわし柿」を販売しました。ラーメンの味を良くする為に出汁にこだわったよりおいしいラーメンを作るように心掛けました。ラーメンはお昼頃になると行列ができるほど売れていき見事完売することができました。また、多くの団員のご家族もお手伝いに参加していただきました。ご家族の理解、協力がなると消防団活動が成り立たないことを改めて実感しました。

私にとって今回の消防まつりは、消防団員として初めて参加しました。消防団に入

消防まつり、未来につながる

第二十六分団 団員 神山 健一郎
宮下 在住

私たち第二十六分団は、消防まつりの模擬店で、バナナチョコカップとドリンクを出しました。

カップにコーンフレーク、バナナを入れてホイップ、チョコシロップ、チョコスプレーをかけて完成です。これを全員で横一列に並び、作るのです。分団長も副分団長も部長も班長も団員も関係なく、みんなで作ります。ホイップが多いとか少ないとか、チョコが多いとか少ないとか、色々と試行錯誤を繰り返し完成させました。これがチビ子たちに人気です。子供から大人まで旨さの「虜」になります。男の子も女の子も甘い物が好きで、次から次へと買います。なかにはリピーターまでいるのです。又、チョコ抜きでほしいとか、ホイッ

団するまでは、消防まつりがあることを知りませんでした。

しかし、実際参加してみると想像していたよりもたくさんの方や子供たちが来場していました。なので消防まつりのことをもっと多くの方たちに知ってもらいたいなと思いました。



今後地域の皆様の役に立てるよう、また火災の発生が少しでも減るよう消防団活動を頑張っていきたいと思えます。



プ抜きがいいとか、究極は、バナナ抜きです。色々な注文に対応しながら作っていきます。これがこのお店の良いところです。チビ子たちの笑顔は、すごくいいね。こういう笑顔が見られるからみんな頑張れるんだよ。この子供たちが大きくなって消防団員になってくれたらいいよね。消防団の活動は、色々あるけれど、楽しいこともたくさんある事を知ってもらい、未来の団員確保へつながるようこれからも頑張っていきたいと思います。

出店コンクール 優秀賞



第5分団 タピオカミルクティー・ドーナツ・ヨーヨー



第11分団 草もち

消防機器協力会
防災物品展示・シニエイク

消防操法訓練大会

第37回 静岡県 消防操法大会

快挙!! 三位入賞

ポンプ車操法の

選手になつて

県大会

第十分団 班長 牧野 朗
まきの治療所(自営業)

二〇一八年の三月に開催された十分団の会合で、大型ポンプ車操法の選手募集がありました。私は、その場で立候補しました。以前から操法に興味があった事と、運動不足を解消して少し痩せられたらいいなという軽い気持ちでした。



実際の訓練は六月から始まり、私が思っていたよりも厳しいものでした。指導員の方やサポートをして下さる消防団員の皆さんから伝わる優勝への期待感、緊張感のある雰囲気の中々馴染めませんでした。

しかし、十分団の先輩や同じ隊の選手に支えていただき、市役所で開催された市内大会では訓練の成果を発揮し、優勝することが出来ました。

翌年の七月に開催された富士市・富士宮市の支部大会では、選手全員が実力を出し切り、練習では出せなかったベストタイム

を記録し優勝することが出来ました。

そして、上位入賞を目標に掲げて挑んだ十月の県大会では、台風接近に伴う強風で、私個人としては満足できる操法とはなりませんでしたが、チームの団結力で三位に入賞することが出来ました。今までの努力が報われ、本当に嬉しかったです。更に四番員の石川さんは県大会で二大会連続の MVP に選出され、同じ隊の選手としてとても誇らしく思いました。

操法の選手になってから県大会が終わるまでの約一年半、一つの目標に向かって努力をすることの大切さや、勝つことの喜び、他の分団の方々との絆など、私の人生においてかけがえのない財産をいくつも作る事が出来ました。貴重な経験をさせていただき感謝申し上げます。この経験を、今後は分団の後輩や操法未経験の方に伝えていきたいと思えます。



富士支部消防操法訓練大会

支部大会

第二十五分団 班長 渡辺 将人
(有)大孝建設 勤務

第一方面隊は第二十五分団で結成されたメンバーで市内の大会を優勝し、支部大会へ出場する事になりました。

四月から練習が始まり、仕事でなかなかメンバーも揃わず、団本部・指導員・方面隊の皆様にご迷惑を掛けました。私は一番員でタイムばかり気にしていました。なかなか真っ直ぐ投げられないホース、第二結合の位置、筒先交代等が毎回バラバラで、不安な気持ちのまま練習が終わりました。ついに支部大会当日、メンバー全員適度な緊張感を持ち大会の会場である大石寺へ出発しました。いつも通りの会話をして自

礼式支部大会

支部大会

第二十一分団 班長 菅原 国彦
KSプラント 勤務



盛夏の候、昨年度からの訓練の成果が試される支部大会当日が来ました。思い起こせば、仕事終わりの毎週の訓練仕事の調整をしながら皆頑張ったと思います。



分達の番が来るまで待っていました。小型ポンプ操法の一番目だったので、他のチームに第二十五分団の最高の操法を見せつけてやろうと思っていました。そしていよいよ本番、みんな一気に緊張し「集まれ」が掛かるまで足が震え、三番員の「よし!」との掛け声と共に震えが治まり、すごく良いスタートができ、ホースも真っ直ぐのび、

初めての礼式基幹となる右翼での参加、始めは中々歩調が合わず悪戦苦闘の日々でした。その中丁寧な指導を受けて下さった指導員の方々のおかげで日々上達したと思われました。仕事の調整が合わず中々選手全員での訓練が出来ず不安を残す中当日を迎えたが選手達は緊張した顔色は見せず晴々とした感じがしました。

礼式第一順でのスタート、開会式が終わった後、待機線で待ち、指揮者の号令の下準備線へ、集まれの号令で礼式スタートとなりました。

演目が終わり目標見学位置、駆け足で走り出すと周囲からの拍手で達成感が沸き起こりました。

長い様で短かった礼式訓練が終わり選手達皆、安堵した様子でした。

結果は、富士宮に負けました。日頃の練習の成果は出せなかった悔いはありませんでしたが、やはり勝ちたかった気持ちはありました。

今大会、熱く丁寧に教えて下さった指導員の皆様、また私達選手のサポート及び応援して下さいました方面隊、分団員の皆様方いろいろありがとうございました。

第二結合の位置も良く、筒先交代もスムーズにいき、審査する指導員が見惚れるほど。そして「別れ」の号令、タイムも練習では出なかった四十秒後半、自分達のベストを尽くし、優勝の期待もふくらみました。

そして結果発表のアナウンスでドキドキしていたところ「小型ポンプ操法の部、優勝：富士宮市消防団」、思わず心の中で「えっ?」と思えました。終わった後に一番員を指導して下さいました指導員に「すごく良かった」と言われてすごく嬉しかったです。

最後に団本部の皆様、指導員の皆様、第一方面隊の皆様、第二十五分団の皆様、長期間本当にありがとうございました。とても良い経験が出来ました。私事ですが、市の大会で訓練礼式優勝パッチ、小型ポンプ操法の優勝パッチを持っているので、次はポンプ車操法で優勝してパッチを取れるように頑張りたいと思います。

支部大会

支部大会

第二十八分団 分団長 望月 啓史

岩淵 在住

我々七方面隊の出場隊は、選手から補助員まで二十八分団員の中から苦勞の末、選手を選びポンプ車操法に出場致しました。選ばれた団員の中には、仕事が忙しく訓練に出る機会が少ないからこそこしか出来ない、他の団員の中には仕事の都合で大会に出られなくなったと言われ、他のメンバーは指のけがで番手を入れ替えて訓練をした人もおりました。

富士市の消防大会では準優勝となり、支部大会出場権を得ることが出来ました。支部大会は水出し操法で、選手全員が未経験者、素人の集まりで、支部大会に向け公式訓練に入る前に自主訓練を行ってきました。選手個々の動作確認、空操法での通しの訓練。納得のできる内容ではありません。公式訓練に入り、空操法での通しの訓練では、指導員に何度も止められて指導を頂きました。訓練も進み水出し操法での訓練



に入り放水時には体が振られて火点を倒すまでに、時間が掛かってしまいました。訓練を重ねる度にタイムが縮まり、目標に近づいていると実感し、これなら狙えると思いい、支部大会当日を迎えました。

七方面隊は、一番目の出場場で優勝を狙い操法に入りました。ところが訓練通りの操法ができませんでした。また、選手の足のケガもありましたが操法を通せたことは、本当に良かったと思います。

優勝は出来ませんでした。支部大会に出場したことは、選手にとってもプラスになることでしょう。良い経験をさせて頂きました。訓練期間中に、ご指導またサポートをしていただいた方々に感謝します。ありがとうございます。



富士市消防団の歴史と

十三分団の活動

第十三分団 班長 福島 耕一郎

平垣 在住

「カンカン！カンカン！こちらは富士市消防団第十三分団です。ただいま春の火災予防運動を行なっています。火の元には十分注意してください。」

このフレーズ。春先になると、富士本町・銀座・元町・富士町・平垣・本市場を、私たち十三分団が消防車に乗って夜間に巡回をしながら住民の皆様へ火災予防を呼び掛けているのです。消防団とは、このような活動を行いながら、地元の火災発防止に努めることが最大の使命となっています。

ここで消防団について少し説明をします。実際に火災が発生したとき消防車で駆けつけてくる人は二種類に分かれ、ひとつは消防職員、もうひとつが消防団員となります。消防職員は市の職員であり、消防本部や各消防署に勤務をしている消防活動が仕事の専門職となります。かたや消防団員はというと、自営業・サラリーマンなど自分の仕事を持ちながら、火災が起きると現場に「出場」する地域のボランティア的な存在となります。

それでは、富士市消防団の歴史について、少し遡っていききたいと思います。

富士市に消防団が誕生したのは、明治元年と言われています。当時、今泉村において江戸消防の組織を習った今泉村消防組が組織されたのをきっかけとし各村各地区に消防組、火防組等が出来ていったことが始まりとされています。昭和十四年、警防団令の制定により各町村消防組は警防団に改編され、昭和二十三年には、旧吉原市では吉原消防団、旧富士市では富士町消防団、旧鷹岡村では鷹岡町消防団と名前が変わっていきました。

そして昭和四十一年、二市一町の合併とともに各市町消防団を統合富士市消防団とし、一団二十四分団・消防団員千八百八十八人・消防ポンプ車二十五台を持つ消防団が誕生



しました。以降、富士川町との合併もあり、現在では、一団七方面隊三十一個分団となり消防団員八百三十人にて活動を行なっています。

しかし、この広い富士市をカバーするために必要な消防団員の数は千三百人であり、約二百人の消防団員が不足している現状となっております。

私たち十三分団はというと、詰め所は本市場にある富士税務署の西側隣。渡辺分団長を筆頭に全二十四名の分団員が在籍しています。分団員の年齢は二十歳から六十四歳まで幅広く、それぞれの職業も多種多様に渡っています。このような分団ですの、皆が集まると、最新のゲームの話や仕事の悩み相談、恋人の自慢話からご子息の結婚の話、子供や孫の写真の見せ合いなど、まるで大きな家庭の中にいるような雰囲気です。盛り上がりがあります(もちろん消防団活動の話もしています)。

十三分団の歴史は他の分団と少し変わっていて、昭和四十五年旧の市庁舎が完成するまでは、現在の十三分団の建屋を消防

本署と消防団が共有していたという珍しい環境の中、地元の火災予防のために活動を行なっていました。その頃の詰所は、2階が待機場所・1階が消防車のガレージとなっており、火災の際には一秒でも早く出動出来るように、2階の床には丸い穴が開いており、その穴の真ん中にポールが1階まで伸びていて、火災が発生した時には、そのポールを滑り降りて出動していたそうです。私も小学生の時に十三分団の詰所を見学した際、テレビで見たことがあるポールが2階から1階まで伸びていたことを覚えていました。この時の詰所が立て替えられ現在の詰所となっています。

最後に、皆さんも消防団に入り、地元の火災予防活動を行なってみませんか？今まで知らなかった地元の事や、消防団活動を通してでないと出会えなかった出来事が、必ずや皆さんの今後の人生に役に立つと思えますし、何より、これからの人生に世話になる地元を守る一員となるのです。人生悔いを残さないよう、是非お考え願います。

新入団員教育

新入団員教育を終えて

第十六分団 団員 望月 孝行

横割 在住

今まで、私の消防団のイメージは地域交流が主な活動だと思っていました。普段の生活の中では近い存在ではあるが、あまり関わりがなく、消防団員の友人が話すこと以外は知りませんでした。ですが自分自身が入団して新入団員教育を受けてみると、考え方が大きく変わり、間

夫婦で消防団員

第八分団 団員 幅野和人・芹奈

比奈 在住

「消防団に入らない？」と地元消防団の庄司先輩が声をかけてくれました。「引っ越してきたばかりで、子供もまだ小さいので…」と、その時はお断りしました。

それから四年後の今年の四月、「子供さんも成長してきたし、そろそろ消防団入ら



違った捉え方をしていたと気づかされました。敬礼や隊列の組み方、消防器具の扱い

ない？今年も女性の新入団員も入るし、夫婦で入らない？齊藤分団長も同じ地域の先輩で今が一番入りやすいよ」と言われました。二人揃っての活動に不安はありませんが、先輩が大丈夫と言ってくれたので、子供たちに「パパとママ、消防車乗っていいかな？」と聞くと、「いいよ」と言ってくれました。

消防団に入って

みて感じたこと

第十五分団 団員 石橋 誠

柚木 在住

私が消防団に入団してから十年が過ぎようとしています。消防団に入るのになったきっかけは、同じ地区の先輩に声を掛けられ勧誘されたところから始まります。初めは迷いましたが、めったに経験できない社会勉強の一環だと思い入団することにしました。

入団当初はなかなか消防団の活動に参加することができず、今思うと、もっと時間を調整して多く参加をしていればよかったです。後悔をしています。

方など、丁寧に指導していただき「私はこれから消防団員になるんだ」と自覚しました。

又、地域交流以外に車両の点検を月に一度行い、消防大会に出場するなど消防団員としての活動があり、どれも技術や指揮を必要とするものでした。

日々、このような訓練をしている消防団員のおかげで「安全な生活が送れているのだ」と強く思いました。

これからは私も消防団の一員になり、地域を守っていかうと思います。特に地域の皆様に消防団に興味を持ってもらい、地域が一丸となって、それぞれの地域を守っていきけるように活動したいと思えます。最後に、新入団員教育を修了し、消防団員になって本当に良かったと思います。

手厚い歓迎を受け、入団して良かったと思えました。新入団員教育では、座学や実践的な訓練を通して、普段できないような様々な経験をさせていただくことができ、とても勉強になりました。

これから消防団員として覚えていかなければならない事がたくさんありますが、地域の消防団活動に貢献できるよう、夫婦で頑張っていきたいと思えます。



しばらくして消防団の活動および行事に参加することが出来るようになり、最初は勉強することがとても多かったことを今でもはっきりと覚えています。十年経つたいまでも先輩方から学ぶことも多々あります。時には怒られたり褒められたり。入団十年

消防団員募集中!



あなたの「力」を求めています

富士市消防団

を迎えられたのも同じ分団の先輩や後輩たちのおかげであり、皆様には感謝の言葉しか出てきません。今後は訓練大会に出場するなど色々なことに挑戦をしていきたいと思えます。

最後に、入団当初が一番若かった私ですが、今では若い分団員が増えましたので、今まで先輩に教わってきたことを、今後は後輩達に教えていき、良い模範となるように日々の消防団活動を精一杯がんばっていき、後悔をすることがないようにしていきたいと思います。

応急手当普及員

応急手当普及員

第三十一分団 団員 近藤 和正

北松野 在住



応急手当普及員になり四年程経ちました。まだ実際の現場(心肺蘇生)には遭遇していませんが、無いに越した事はありません。そもそも、私が応急手当普及員の資格を取るきっかけになったのは色々ありますが、一番には子供の存在です。

子供が生まれてからは自宅でバーベキューやプール等で遊ぶ事が多くなり、それに伴い大勢の子供達が集まる機会が増え、子供が集まるとケガも多々発生する事があるので、そんな時直ぐに処置、対応出来る人がそばにいと安心だなと思

富士川夏祭り

富士川夏祭り

第二十九分団 団員 久保田 智

木島 在住

八月三日 令和最初の富士川夏祭りが開催されました。

幸い長く続いた梅雨も明け、晴天に恵まれこの上ない形で開催されました。

私達第七方面隊の任務は、富士川夏祭りのクライマックスである打ち上げ花火による火災を起さない様にする防火予防措置を行う事です。

夕方会場である「富士川河川敷憩いの広場」に集結し、小型可搬ポンプを富士川に設置し花火エリアへの予防放水及び、花火打上げ中は背負式放水銃で落下して来た火花が燃え移った時には初期消火を行い、延焼を食い止める事です。



一般の観客よりも近くで待機しているのでじっくり花火を楽しみたいところですが、それが出来ないのが大変残念です。

毎年何事も無いのですが、何年前か前に危うく火災になりかけた事がありました。

その年は祭りの開催の為に予め刈った草がそのまま花火の真下に放置され、また何日も前から雨が降っておらず、刈った草が燃えやすい状態になっており、落下した火花が枯草に着火しました。

その時は背負式放水銃の隊員総動員で何とか食い止める事が出来ましたが、もう少しで火災になりあわや大惨事になりかねま

消防団協力事業所

消防団協力事業所としての

地域貢献への想い

第四分団 班長 佐野 嘉紀
合資会社 堀野紙工



い、資格取得に望みました。以前から会社では救命救急の教育は受けていたが、正直なんとなく受けていただけと言う感じで、これが本当に役立つのか?実際の現場で咄嗟に出来るのか?そんな半信半疑な気持ちでした。

冒頭にも述べた様に、心肺蘇生に関して実際の現場に遭遇していませんが、ケガに関しては何度か立ち会う事があり、その

時には止血・三角巾等の知識が役に立ち、教育を受けておいて良かったと思いました。ただ、人が倒れている場やケガをしている場に遭遇した時に思ったのが、周囲には人が集まっているが、傷病人に近づく人、声をかける人が少ない状況を何度か目の当たりにしたことです。

い、何か手助けができると思います。近くで家族、恋人、大事な人が倒れている時、何も出来ずに見ているだけで、救急車が来るのをただ待っているだけなんて、誰も望んでいないと思います。

私が勤めている「合資会社 堀野紙工」は、昭和二十四年に紙紐の製造を目的に創業し、以来五十年以上、紙の街富士市を拠点として事業活動を行っています。現在の事業内容は紙やフィルムのスリット加工と加工紙の販売です。スリット加工とは、ロール状の素材を希望の幅に切断しながら巻き取る加工です。大きいロール状の素材を小さいロール状にすることで、イメージとしては直径一メートル、幅一メートルのトイレットペーパーを家庭で使うサイズに加工するようなイメージです。

企業がして地域に貢献している表れの一つが「消防団協力事業所」です。現在消防団員は一人ですが、以前は社長も消防団員として活動しておりました。

『お客様とコンプライアンス、そして社員と環境を尊重する』ことを経営理念とし、二〇〇四年にISO14001を認証取得しました。また、環境と同じくらい大切にしているのが地域への貢献です。紙の街富士市で、地場産業の紙加工に携わる

消防団協力事業所に所属する消防団員として会社には感謝しています。私自身入社以前から消防団員として活動していました。地域の防災活動をはじめ、消防操法大会や団の運営などに積極的に取り組んできました。その活動の中で、どうしても消防団員として一定の時間が必要となります。消防団活動に理解のある会社とそうでない会社では、活動範囲も異なってくると思います。

堀野紙工は「消防団協力事業所」の認定をいただき消防団活動を支援していただいていますので、地域の為の活動も認められやすく、会社に対して後ろめたい気持ちを持つことなく活動できることが一番ありがた

消防団活動は時として大変な場面もあります。しかし地域や人の為に活動できることは非常にうれしくやりのある活動です。これからも職場や仲間の協力を得て、仕事と共に消防団活動も長く頑張っていきたいです。



消防団活動は時として大変な場面もあります。しかし地域や人の為に活動できることは非常にうれしくやりのある活動です。これからも職場や仲間の協力を得て、仕事と共に消防団活動も長く頑張っていきたいです。

富士市消防団協力事業所表示制度

事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度で、複数の従業員を消防団員として入団させている事業所や、水火災等の災害時に事業所の資機材を消防団に提供する等の協力をするなど、消防団活動に積極的に協力している事業所その他の団体に対して、消防団協力事業所表示証を交付します。

また、認定を受けた事業所は、取得した消防団協力事業所表示証を敷地、建物等に表示できる他、パンフレット、チラシ、事業所ウェブサイト等にてPRすることができ、事業所のイメージアップにもつながります。



富士市消防団協力事業所の紹介

富士市消防団協力事業所

令和2年1月31日現在

- ① 富士トラック(株)
- ② (株)三和工務店
- ③ 足場屋 勇仁
- ④ (有)佐野商事
- ⑤ 佐野晶彦(不動産賃貸業)
- ⑥ 平松建築
- ⑦ 深沢消防産業(株)
- ⑧ (株)川嶋組
- ⑨ 佐藤畳店
- ⑩ (有)くろがねや
- ⑪ 影山モーターズ
- ⑫ 合資会社 堀野紙工
- ⑬ (有)増田製袋
- ⑭ 三晃堂鍼灸治療院
- ⑮ 中島工業所
- ⑯ 潮屋
- ⑰ 金時
- ⑱ (株)大善工務店
- ⑲ (有)池田自動車工業
- ⑳ 合資会社 山田運送店
- ㉑ 桑原左官工業
- ㉒ 静岡日野自動車(株)富士営業所
- ㉓ シンセラ環境サービス(株)
- ㉔ (有)大塚技研 第2工場
- ㉕ (有)飯田電設
- ㉖ 竜陽商会
- ㉗ (株)西尾組
- ㉘ (株)タイヤ館富士
- ㉙ (株)佐野総業
- ㉚ 遠藤建設(株)
- ㉛ 渡邊農園
- ㉜ サンコー防災株式会社
- ㉝ 税理士法人ーBS富士事務所
- ㉞ (株)加々美
- ㉟ (株)司技研
- ㊱ (有)ヤザキ総合エクステリア
- ㊲ (株)ブレイン
- ㊳ 間野吉幸税理士事務所
- ㊴ 和田建設株式会社
- ㊵ (株)イチエィ
- ㊶ (有)三浦電気
- ㊷ (有)秋山配管工業
- ㊸ 松本工業株式会社
- ㊹ junprogresso
- ㊺ (ジュンプロGRESS)

※登録順



FUJI RED FAIRY

カラーガード隊 隊員募集中

連絡先

富士市消防本部消防総務課
☎ 0545-55-2851



体を動かすことが大好きな人・興味がある人はぜひお問い合わせください。

編集後記

消防団だよりを発行するにあたり団員の皆様、団員ご家族、また関係団体の皆様から多数の原稿や写真を今年もお寄せ頂くことができた。寄稿していただいた皆様には、厚くお礼申し上げます。皆様からの寄稿を拝読させていただき、消防団活動に対する皆様のご理解、ご協力に改めて感謝申し上げます。

さて、今年度を振り返ると、二年に一度開催されます静岡県消防操法大会で富士市消防団第三方面隊が、富士支部代表としてポンプ車操法の部で第三位入賞いたしました。久しぶりの快挙に大いに盛り上がり、これはひとえに、選手をはじめとする消防関係者全員とご家族皆様のご理解とご協力があつたからこそと思います。

また、災害に目を向けると、九月の台風十五号の関東地方上陸によって千葉県を中心に甚大な被害をもたらした。十月は台風十九号が関東から東北地方にかけて記録的な豪雨となり、多くの河川氾濫を招きました。その爪痕はいまだに癒えてはいません。想像を超す自然災害の恐ろしさを痛切に感じるところです。それと同時に、我々消防団が担う役割と市民からの期待を再認識させられました。今後、地域の防災の要として訓練を通して知識と技術の向上を図り、期待に応えられるよう努めてまいります。

広報紙編集委員長

富士市消防団広報紙編集委員会

- 委員長 高橋英則
- 副委員長 鈴木秀夫
- 委員 第五方面隊長
- 委員 団本部 副総務部長 鈴木秀夫
- 委員 第二十五分団 係長 鈴木 信一
- 委員 第四分団 係長 佐野 晶彦
- 委員 第八分団 係長 仁藤 貴敏
- 委員 第十三分団 係長 福島耕一郎
- 委員 第二十六分団 係長 齊藤 正道
- 委員 第二十一分団 係長 泉地 仁司
- 委員 第三十一分団 係長 二又川武政